

ラクシユミー！  
バーイー



戦友である  
ネモ船長と……♡

カルデアの廊下を  
ラクシユミー・バーイーと  
歩いていた時：

「この前の  
マスターとの  
戦闘訓練で  
思いついた  
戦略のなか」

はっ！

あれから  
戦友である彼女にも  
劣情が湧く……

彼女のノーパン  
ミニスカスリットを  
見るとスポンが  
はちきれそうだった……

……？  
どうした？

私の話をちゃんと  
聞いているのか？  
キャプテン・ネ……

あ……

はっ！





すすまないっ♡  
キャプテン・ネモ♡  
私の不運が原因でこんな...っ♡  
すぐに退くから待っててく...♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

はははは♡  
はははは♡  
はははは♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

あははは♡  
あははは♡  
あははは♡

キヤ♥キヤプテン  
なっ♥何をっ♥

私は王妃だぞっ♥  
君の戦友だぞっ♥

それを♥  
このような  
ああっ♥

す♥すまない♥  
君への劣情がもう♥  
抑えきれない♥

君の煮卵のような♥  
王族王妃尻を♥

シャチのように♥  
遊び♥孕ませたい♥

それに君は♥  
息抜きのやり方に♥  
困っていたらう♥

いま♥教える♥



ど真ん中だぞ♡♡

ま♡まて♡♡  
わ♡わかった♡  
わかったから♡♡  
けどここは♡  
廊下だぞ♡♡

せめて♡♡  
君か私の♡♡  
聞でっ♡♡

受特確定♡  
Pチケ

マリリンも交えて  
たっぷりと息抜きの  
方法を学ぶのであった…♡

その後…♡  
マイルームに移動した  
ラクシユミーは…♡









